

## 令和 5 年度第 3 回久寺家地区地域会議 議事録

【1】開催日時：令和 6 年 2 月 4 日（日） 9：30～11：50

【2】開催場所：久寺家近隣センター 多目的ホール

【3】出席者：14 団体 23 名

委員：久寺家地区まちづくり協議会（4 名）、久寺家自治会、久寺家三菱自治会、久寺家 2 丁目自治会、久寺家マンション自治会、土谷津町会、日新自治会、久寺家地区子ども会代表（2 名）、久寺家地区民生・児童委員、北地区社会福祉協議会、消防団第九分団、みんなの広場「風」、久寺家よりみちサロン「風」（兼：きらめきサロン、いきいきクラブ）、久寺家生活お助け隊、地域会議事務局（3 名）

陪席：我孫子市市民協働推進課（2 名）

欠席：社会福祉法人栄興会つくし野荘

### 【4】議事要旨

1. 1 月から新旧会長が交代した日新自治会、土谷津町会各委員より自己紹介を行い、

次いで事務局より会議の内容と進行について説明があった。

2. 市民協働推進課より挨拶と施策の現状などの報告があった。

3. 久寺家地区地域諸課題についての全体討議

#### (1) 参加団体による今年度活動報告

各団体より本年度の活動に関して報告があり、意見交換した。主な内容以下の通り。

(久寺家自治会) 柏のデータセンター建設は、計画 4 棟の内 2 棟目工事中で電力引き込み工事が進んでいる。工事車両通行に誘導員配置など安全確保対応を業者と話し合っていて進めている。現在までケガや事故などの問題はない。久寺家区長名の「我孫子市消防団第 9 分団団員募集のお知らせ」文書を関係地区自治会に伝達して協力を願った。

(土谷津町会) 現集会所は 3 月で土地返還のため閉鎖、以降久寺家近隣セや柏ふるさと会館を使用する。我孫子市の道路拡幅工事は 3 月末完工、3 月からは柏市側が着工、工期 7 月頃までの見込み。完成後の抜け道化懸念。町会に加入しない世帯があり、ごみ処理など地区協力が問題。

\* 市民協働推進課より、ゴミ回収は市民ならだれでも受益できるという市ルールがあり、他地区では自治会未加入世帯でもゴミ当番はやるという対応例もある。また高齢、独居等の要支援要介護世帯ではふれあい収集という個別回収の道もあるとの説明があった。また、久寺家三菱から、自治会未加入世帯でもごみ当番はやるかたちをとっている、事務局より自治会には市から全世帯数分の補助金が出ているとの補足意見もあった。

(日新自治会) 工業団地計画は 2025 年以降の予定。田中調節池の改修工事は 2024 年度か

ら13年間工期の情報。

(久寺家三菱自治会) 今年度予定の会員名簿改定は、個人情報の保護から作成中止とし総会に諮る。合わせて自治会活動も個人情報の取り扱いを重視すべきとの考えで、「保護」を優先した内容の個人情報取り扱いのルールを作る。

(久寺家2丁目自治会) 世帯調査を実施したが、災害時の支援など必要性を説明しても個人情報守秘を主張し提出を拒否する会員がいる。

(久寺家マンション自治会) 独り住まい世帯があり、緊急連絡先の整備を進めている。

(子ども会代表) 解散した子ども会の後に、まち協と役員中心に企画して子供夏まつり、書道教室、童リンクなどの活動を実施し好評であった。役員は共働き家庭がほとんどだが、学校PTAと合わせて取り組み、子供関係活動が一步前進した感。子供が役員の顔を覚えてくれるなど地域コミュニケーションの深まりも感じている。

(北地区社協) 地域文化祭のバザーが好評売り上げ増。健康と福祉の集いを5年ぶりに通常開催、二階堂高校、中央学院大との活動参加提携ができ、今後小中学校にも広げたい。LINEを使った独居者見守り無料サービス「エンリッチ」は優れたシステムなのでさらに広げたい。(詳細北社協配布資料参照)

(消防団第9分団) 団員が定員割れで現団員の任期切れ後は3人になり、東京など勤務者がいて活動が困難になる危機的状況。第10分団との統合の話が進んでいるがここも高齢の団員が多い。体制を整えるために消防団対象地域で広く参加を募るべく、久寺家自治会長より関係自治会長に要望書を出し団員募集の協力をお願いする。

(みんなの広場「風」) ここ数年コロナ禍でイベントが中止となり収入が減り赤字の時期があったが、今年度事業計画は10月からイベント復活が寄与し順調に推移している。土谷津にある芸術村の協力を得て12月に地域ボランティアのみなさん、利用者・職員でバーベキュー・パーティを開催し、皆で楽しく地域交流を図ることができた。

(よりみちサロン風) いきいきクラブによる高齢者の体力維持・支え合い・見守りのためには毎週1回の継続開催が不可欠であることを市にもご理解頂き、来年度から近隣の優先予約数を月3回から4回分に増やしてもらえることになった。

(民生・児童委員) 定例会の場所が久寺家近隣から市民プラザに移ったがうまくいっている。

## (2) 地域支え合い活動等について意見交換

今年度に地域会議で取り上げてきた地域包括ケアシステム関連の締めくくりとして、支援のスキマを埋める地域の支え合い活動などに関する意見交換を行った。

### ① 久寺家地区の人口動態変化と特徴について

事務局より、市提供の人口データに基づき、時系列、現状などの久寺家地区の人口構成、高齢化の推移と状況、その考察につきグラフなどを示して説明があった。

### ② まちづくり協議会の運営課題と地域交流の試み

次いでまちづくり協議会より、高齢化により活動の担い手と参加者が共に減ってき

ている状況に鑑み、活動内容の見直し状況につき報告があった。

2000年策定の市の地域コミュニティ整備計画に沿って地域の主婦層が中心となりまち協がスタート、近隣センターを開設した。その後定年後の男性が参加して活発化し今日に至る。しかし近年は役員高齢化で人力を要する活動が難しくなり、その負担軽減の運営方法を模索している。また、近隣センターは地域コミュニティの活動拠点として整備されまち協が運営管理を担って来たが利用予約のネット化により地域外団体の予約が増加し当地域団体の活動が制限されて来ている。市と協議してまち協登録団体等の優先予約枠を設けるなど地元団体の活動支援を進めて来たが十分ではない。

また、子供会解散、若いファミリー世帯の増加状況に対して、2年前に地域交流推進委員会を新設し、子ども会役員と協議して子供夏まつり、書道教室、ラジオ体操など子供関係イベントを推進してきている。イベント名称は従来通り三大祭りを継承しているが、実施内容はイベントの運営方法見直し等により既に地域の実態に応じて変わってきている。またカラオケ大会、麻雀大会もそれぞれの主催者が独自に企画する運営方法に改め成果が出ている。

### ③ 「支援のスキマ」を埋める取り組み意見交換

地域包括ケアシステムで期待される支援のスキマを埋める地域活動につき、関連する活動を進めている団体の報告と意見交換を行った。

**(生活お助け隊)** 高齢者の介助などは基本個人と専門職の世界であるが、支え合いで隙間を埋める仕組みとして活動している。簡単な困りごと以上のサポートの要請もあり、メンバー高齢化のために過大な期待と責任を感じる。一人住まいの増加で買い物や病院外出支援などの増加が見込まれるが新たなサポート方法が必要。

**(よりみちサロン風)** サロンは介護を受ける前のスキマを埋める役割をしている。運営ボランティアは70,80代で、来訪者共々高齢者どうしの見守りのかたちだが、ご近所交流、困りごとのアドバイスなど行っている。個人情報守秘が強くなると共助活動に支障が出る。1丁目の名簿作成中止に際して、住宅地図で住まい情報を残してもらうのはありがたい。まだまだ高齢者が多い状況の中で、民生委員、お助け隊と協力して活動を進めていく。

**(民生・児童委員) 自治会から警察へ** 生活気配のない独居者の所在確認要請があり、民生委員として警察官に立ち会う機会があった。結果は留守で事なきを得たが、個人情報保護の中で世帯情報が無く素早い対応が難しい。見守りは近隣どうしのつながりが有効で、日頃からご近所同士でお互いに話をすることは大切。

\* 個人情報に関連して次のような意見交換があった。

・ 個人情報秘匿が強くと要請される環境下で、1年任期の自治会役員がみまもり活動を推進するには不安がある。よりみちサロン風のような相互信頼関係を築いている地域活動が広まることに期待する。

- ・自治会名簿の悪用防止は最優先事項、その上で必要な時に提供する合意が必要。
- ・地域の活動における個人情報保護法の運用については、法律に定める規定を十分理解して適正に進めることが大事。
- ・地域の助け合いには昔から言う「向こう3軒両隣」の関係作りが基本。
- ・これまでの議論を踏まえて活動内容の見直しなどを検討した団体は、次回以降の地域会議にてご報告ください。

#### 4.久寺家地区 6 自治会協議会合同防災訓練報告

協議会事務局より当年度の活動と収支、次年度の活動計画に関し報告があった。

\* 合同研修会 6/30、事前準備会 10/27、合同防災訓練 11/10

#### 5.久寺家地区地域団体からの要望事項

- ・土谷津地区道路拡幅終了後には、久寺家地区の利便性を上げたアビバスルートの変更を願う。
- ・今回の人口動態等の検討から、市内にかつて新興住宅地として開発された多くの地域では同様に高齢化が進んでいる。ここでは市作成の地域コミュニティ作りビジョンによるまち協を中心としたこれまでの地域活動の在り方は実態に合わなくなっている状況と思う。今後の地区人口動態予想や専門家の意見、他市の例などをもとに同ビジョンを再検討し見直しを図る必要があると思はれる。

#### 6.その他

事務局より今年度の地域活動費活用案件はなかったこと、次年度には積極的な利用を願うこと、および 2024 年度の開催日程\*が報告され、本日の会議を終了した。

\* 第1回 6/2日、第2回 10/6日、第3回 2/2日 9:30 から多目的ホール

以上